

平成 24 年度（第 2 回）境港市国民健康保険運営協議会議事録

日 時 平成 25 年 2 月 28 日（木）

場 所 境港市保健相談センター研修室

出席者 委 員 松本 憲昭、柏木香寿子、永見 庸子、小徳 賢司、足立 則文
松野 充孝、小林 哲、川本 英樹、足立 利昭、柏木 咲子
土居 稔典、山本 真次

欠席者 委 員 松本 雅人、渡辺はるみ

事務局 市民課長 佐々木真美子、市民課保険年金係長 石倉 俊一、市民課 松田 陽子、
子育て健康推進課健康推進室長 田端久美子

（1）開 会 午後 1 時 30 分

（会長） あいさつ

お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

今日の協議事項は、平成 24 年度国民健康保険費特別会計の決算見込みや平成 25 年度国民健康保険費特別会計予算案その他の議題にある報告事項を審議いただきます。

疑問なことは事務局にどんどん質問してください。

（2）委員出席状況報告

（事務局）委員 14 名中 12 名の出席。運営協議会規程第 5 条第 2 項の規定により、本会が成立していることを報告します。

本日の会議の議事進行については、運営協議会規程第 6 条により川本会長にお願いします。

（3）議事録署名委員の選任

（会長） 足立利昭委員と柏木咲子委員に議事録署名委員をお願いします。

（6）協議事項

（会長） （1）平成 24 年度境港市国民健康保険費特別会計決算見込みについて説明をお願いします。

（事務局）平成 24 年度国民健康保険費特別会計決算見込みについて報告。

（要旨）

◇平成 24 年度の収支の見込みは、歳入 4,355,584 千円、歳出 4,391,411 千円となっており、35,827 千円の赤字となっています。この赤字補てんの一般会計繰入金で対応する予定としています。

[歳 入]

◇保険税は、決算見込み額 717,965 千円

平成 24 年度の保険税改定により、被保険者数の減や所得の減があったものの保険税

は約 35,000 千円の増加見込みとなっています。25 年 1 月末現在の収納率は、現年度分が対前年度同期比 1.2 ポイント増と保険税の引き上げを行ったものの前年を上回ることができています。滞納分が 1.49 ポイント減であり、決算見込みにあたっては、平成 23 年度実績並みの徴収率で見込んでおります。

◇国庫支出金は、決算見込み額 976,017 千円で、歳出の給付費等の 32%が交付されるもので、歳出の療養給付費はいずれも伸びていることから歳入も伸びています。ただし、歳出に比べ伸び率が少ないのは前期高齢者交付金が伸びていることと制度改革により負担割合が 34%→32%に減りましたことから、歳入は微増にとどまっております。

国庫支出金のうち調整交付金は、市町村間の財政力を調整するために交付されるもので、年度末に額が確定するため現時点では概算で見込んでいます。

特別調整交付金が 15,000 千円減となっているのは、後期高齢者制度が始まる前の平成 19 年度と比較して、支払基金交付金の合計額が減少した市町村に対する補てん措置分が昨年度新規で交付されたことによるものです。

◇県支出金のうち、調整交付金については国と同様概算での見込みです。ただし、負担割合が 7%→9%に増えたことから増額を見込んでいます。

◇退職者療養給付費交付金は、決算見込み額 356,538 千円で、前年度に比べ約 3 千万円の増です。これは歳出の退職分の保険給付費や拠出金相当額の支出額に対して交付されるもので、決定額です。

◇前期高齢者交付金は、65～74 歳の前期高齢者の全体に占める構成割合の少ない被用者保険等がその割合に応じて拠出し、構成割合の多い市町村国保等へその割合に応じて交付される、保険者間の財源調整のための交付金です。24 年度概算額 1,170,592 千円、22 年度精算額等 46,990 千円と前年度に比べ 160,145 千円の大幅増となっていますが、これは前期高齢者の構成割合が、平成 22 年度 37.8%→平成 24 年度 39.1%と増加していることによるものです。

◇共同事業交付金は、決算見込み額 612,570 千円で、前年度に比べ 155,716 千円の増です。これは県内の市町村の保険料の平準化や財政の安定化を図るため、各市町村国保が拠出をして、その財源を基に、費用負担の調整を行うための交付金で、医療費 80 万円以上の高額医療費共同事業、30 万円以上 80 万円未満の保険財政共同安定化事業ともに療養給付費、高額療養費の伸びにより大幅に増加しております。医療費が 80 万円以上のものの件数、医療費とも増加しており、平成 23 年 456 件→平成 24 年 600 件弱と大幅に増加。30 万円以上のものも同様に増加しております。

◇一般会計繰入金は、低所得者に対する保険税の軽減措置した部分や出産育児一時金の 2/3 など一定のルールにより繰り入れるものです。現時点での見込みでは赤字補てん部分はありません。当初予算では赤字繰入が 25,444 千円であるので、赤字額が約 1 千万円増加している状況です。

◇基金繰入金は、69,090 千円で基金残の全額を繰入れします。平成 21 年度から赤字が続いており、その補てんのために毎年度基金を取り崩しており、平成 24 年度で基金が底を突く見込みとなっております。

◇その他収入は、督促手数料や延滞金などです。

◇返還金は、事故などによる第三者行為に伴う返納金などです。

[歳出]

◇総務費は、事務費や国保連合会への手数料・負担金、医療費通知やジェネリック医薬品の差額通知に係る経費です。

◇一般療養給付費は、決算額 2,863,651 千円で、前年度に比べ 212,643 千円、9.4%の増、高額療養費が、75,621 千円、25.9%の大幅な増加となっております。

要因としては、高額となった人を見ていくと、人工透析の人が平成 24 年新規で 11 人出ており、8 月時点で把握している人数で見ると平成 22 年 33 人→平成 24 年 45 人になっています。また、がん治療を受けている人で医療費が高額となっている人が多く、国保全体のレセプト件数は増えていないが 1 件あたりの金額が増えている状況です。また、平成 24 年度には移植医療や先天的な病気のための治療など医療費が高額となる事案が新たに出てきています。

退職者療養給付費は、ほぼ前年並だが、高額医療費のみ伸びているところです。

◇後期高齢者支援金、介護納付金は、それぞれ後期高齢者の医療費、介護保険の給付費の伸びにより国保の負担も伸びています。

◇共同事業拠出金は、ほぼ横ばい。共同事業交付金は 1 月から 12 月までの実績により交付されるが、拠出金は過去 3 カ年の実績に基づき算出するので、交付金は大幅に伸びているが、拠出金は横ばいという結果になっています。

◇特定健康診査は 12,266 千円で、受診者 1,293 人で受診率 21.0%の見込み、特定保健指導は受講者 28 人で受講率 16.2%の見込みです。

◇保健事業は 12,299 千円で、国保の人間ドック 345 人、脳 MRI 検査 167 人、無受診家庭表彰 227 世帯で、いずれも前年より増加しています。

◇その他の支出は、税の還付金などです。

◇償還金は、会計検査の指摘による平成 20 年度国調整交付金の算定誤りによる返還金 44,000 千円と例年の医療費の精算による返還金です。

(会長) ただいま説明のありました平成 24 年度国民健康保険費特別会計決算見込みについて、ご質問、ご意見があれば遠慮なくお願いします。

これは見込みであるので最終的な決算については次回の運営協議会で報告があります。関連があるので、平成 25 年度の予算案についても説明をお願いします。

(事務局) 平成 25 年度の予算案については、平成 24 年度決算見込みから推計をしています。

「歳入」

◇保険税は、予算額 724,472 千円

一般分の現年度分の収納率は 91.0%を見込み、対前年 11,877 千円、2.0%の減少。滞納繰越分の収納率は 16.36%と見込み、対前年 123 千円、0.2%の増加としております。

退職分の現年度分の収納率は 95.0%を見込み、対前年 13,508 千円、15.5%の減少。滞納繰越分の収納率は 26.28%と見込み、対前年 559 千円、9.6%の増加としています。

これは被保険者数の減少によるもので、一般分については平成 21 年度から減り続けて

おり平成 25 年度予算では 7,986 人を見込んでいます。予算対比で言うと一般分が 134 人、退職分が 86 人の減少です。

- ◇国庫支出金は、予算額 985,681 千円で、歳出の給付費等の 32%を計算して計上しております。調整交付金については、今年度の決算見込みも確定していないことから、確実な額を見込んでいます。
- ◇県支出金のうち、調整交付金については国と同様概算での見込みです。ただし、負担割合が 7%→9%に増えたことから増額を見込んでおります。
- ◇退職者療養給付費交付金は、予算額 331,929 千円で、前年度に比べ 2.8%の減です。これは退職分の被保険者の減少による保険給付費の減によるものです。
- ◇前期高齢者交付金は、25 年度概算額 1,212,416 千円、23 年度精算額等 98,421 千円と前年度に比べ 92,573 千円、7.6%の増としております。これは、前期高齢者の構成割合が、平成 25 年度 42.0%と増加していることによるもので、年々増加してきており、合わせて交付金額も増加してしております。
- ◇共同事業交付金は、決算見込みで説明しましたように高額医療費共同事業交付金は 155,724 千円、対前年 51,489 千円、49.4%の増加。保険財政共同安定化事業交付金は 456,845 千円、対前年 106,328 千円、30.3%の増加としております。
- ◇一般会計繰入金は、平成 24 年度に引き続き赤字繰入金を 27,828 千円計上してしております。
- ◇その他収入は、督促手数料や延滞金、医療費返還金などです。

[歳 出]

- ◇一般療養給付費は、被保険者数を 24 年度予算の 1.7%減、1 人当たり費用を 24 年度決算見込みの 3.0%増で見込んでおり、対前年 308,463 千円、11.9%の増加。
退職分保険給付費については、被保険者数を 24 年度予算の 10.1%減、1 人当たり費用を 24 年度決算見込みの 3.0%増で見込んでおります。
- ◇出産育児一時金は 34 件、葬祭費は 67 件で計上しています。
- ◇後期高齢者支援金、介護納付金は、国が決定した単価に基づく拠出金額で、それぞれ後期高齢者の医療費、介護保険の給付費の伸びにより国保の負担も伸びております。
- ◇共同事業拠出金は、国民健康保険団体連合会が決定した拠出金額で高額医療費共同事業拠出金が対前年 4,078 千円、3.1%の減少。保険財政共同安定化事業拠出金が、対前年 18,979 千円、4.8%の減少となっており、境港市の場合、拠出が少なく交付が多くなっている状況です。
- ◇特定健康診査は、新たに貧血検査を全員に実施し、特定健診の受診率を 25%、保険指導の受講率 28%で予算計上してしております。
- ◇保健事業は、国保の人間ドックを 340 人の予算枠を確保、脳 MRI 検査 200 人の予算枠としております。
- ◇その他の支出は、税の還付金などです。

以上、歳入歳出それぞれ 4,426,377 千円の予算を計上していきまして、3 月議会で審議される予定です。

(会長) 説明は以上ですが、ご質問、ご意見があれば遠慮なくお願いします。

(委員) 資料で徴収率という文言と収納率という文言が使用されているが違いはあるのですか。

(事務局) 同じものです。

(委員) 高額医療のうち、透析で新規の患者は何歳ぐらいの人がなっていますか。

(事務局) 一番若い人は39歳。続いて53歳ぐらいの方。あとは60歳～70歳ぐらいの人です。

(委員) 人工透析は年間500万円～600万円の医療費がかかると言われており、人工透析を防ぐために、平成25年度以降、市としてどのような対策をしていく予定でしょうか。

(事務局) 人工透析の分析を十分しているわけではないが、一般的に糖尿病の患者が多いです。平成23年度の特健健診結果を見ましたが、HbA1cが高い人を保健指導していくことを考えており、医師協会にも相談させてもらい医療機関と連携しながら今後の対策を検討できるように、市の持っている情報、資料を整理しているところです。

(委員) 尼崎市で大きな実績が出ています。取り組めば市の財政にも大きく寄与すると思うので、ぜひ対策をお願いします。

(事務局) 平成23年度の特健健診でHbA1cが高かった人が特定保健指導で下がったという人もいたので、これをもう少し充実していきたいと考えています。

(委員) 今年からクレアチニンの検査をしているので、e-GFRなどの数値をきちんと判定する方法を決めて有効活用する体制にしてほしい。

(会長) 医師協会ともよく相談して進めるようにしてください。

(事務局) 協会けんぽの委員にも出席いただいているが、協会けんぽの先進的な取り組みも参考にさせてもらいながら進めていきたいと考えています。

(委員) クレアチニン、e-GFRの値が出てきているので、中糖度から高糖度など放っておくと透析になるようなハイリスクのグループに介入して、透析になってしまう前にくい止めていかなくてはいけない。透析になってしまうと医療費が雲泥の差になるので。

(事務局) 1カ月でも2カ月でも透析ならぬようにくい止めたい。1年伸びれば医療費も大きく違ってきますので。

(委員) 被保険者数の関係だが、退職被保険者数が毎年減っていくわけですが、24年度決算見込みと25年度予算では765人と同数になっています。今年4月から高齢者雇用安定法が施行になって、事業所は65歳まで雇用しなければならない。そうすると25年度からは新規の被保険者が少なくなるのではないのでしょうか。

(事務局) 退職被保険者数については、減る見込みではありますが、退職全体での人数が少ないため少しの増減が大きく予算に影響し、減少を見込むと追加の補正予算が必要になる場合があるので、当初予算の段階では横ばいで見込んでいます。

(会長) その他ありませんか。いずれにしても保険税を上げるときに向こう3年は赤字繰入をしてもらおうという見込みで実施しました。赤字であると次にいつ上げるのかという話になりますので医療費削減にも取り組んでください。

次に24年度、25年度特定健診・特定保健指導の実施状況についてお願いします。

(事務局) 24年度、25年度特定健診・特定保健指導の状況について報告

(要旨) 特定健康審査について、実施機関、委託料は昨年度と変わりありません。今年度から尿酸、クレアチニン検査を追加しています。

受診状況としては、平成24年度は対象者6,155人で受診者1,293人。昨年度に比べ微増しており、受診率は21%となっています。

休日の集団健診を保健相談センターで11月と1月の2回実施しており、36人が受診しています。前年度とほぼ同じ人数です。

特定保健指導について、平成24年度は平成23年度の特定健診を受診した人が対象となり、対象者173人で受講者28人です。昨年度に比べ増えてはいるが、実施率としては16.2%でまだまだ参加者が少ない状況です。

平成24年度は、特定保健指導の方法を変更し、健診結果が返ってきた次の月には参加してもらうように声かけし、個別対応を行っています。1回につき2,3人の少人数で実施をしております。

平成25年度の特定健康審査については、実施期間、医療機関などは変更ありませんが、休日の集団検診を保健相談センターと中浜公民館で実施することとしています。これは医療機関が空港側に少ないとの声があったことと休日に行きやすい方法を考えるということで変更する予定です。また、新たに貧血検査を全員に実施することとしています。これまでは該当者のみということで、医者が必要と認めた場合のみに貧血検査をしていましたが、健診内容を充実させるということで医師協会と相談し予算計上して実施する予定としています。

特定保健指導については、継続して運動をしてもらうため市内のスポーツクラブと連携して、会場をそちらに移して実施することなどを検討しています。単発の保健指導で終わらずに、継続して健康を保ってもらうような工夫をしていきたいと考えています。

もう一点、先程から話が出ているが、人工透析が多いということで、今年度から実施している尿酸、クレアチニンの検査結果を利用してe-GFRの値などを参考にし、特定保健指導の対象者に限らず、HbA1cの値の高い人などを拾って重点的に保健指導を実施していく予定にしています。これについては、また医師協会に相談させていただき、来年度の予定を立てたいと考えています。

(会長) ただいまの説明について質問はありませんか。

(会長) 意見が無いようですので、協議事項は終了し、その他の報告をお願いします。

(事務局) 第2期特定健康審査等実施計画について報告

(要旨) 平成20年度から5カ年計画で第1期計画を策定しました。第2期計画については、現在、策定中であり、本日の会にお示しできなくてすいません。次回の運営協議にて報告しますのでご了承ください。

(会長) わかりました。本実施は平成26年度ですか。

(事務局) 平成25年度です。

(委員) 協会けんぽの状況について報告

(要旨) 協会けんぽの保険料は毎年あがっており、国保と同じく非常に苦しい状況です。1人当たりの負担額は年37万円ですが、このうち17万5千円が高齢者の医療に回っています。協会けんぽの支出のうち4割を超える額を高齢者医療への拠出金が占めている状況です。加入者の保険料1万円当たりの使い道にすると約4,000円が高齢者の方の医療費となっています。

これは、国保の予算決算の説明にもありましたが、働いておられた人たちが退職さ

れたあとは皆国保に加入される。その見返り分として拠出しているものです。

境港市の決算見込みにおいても約28%が前期高齢者交付金になっていますが、一般の人は国保の給付費は保険料と国県からの拠出金と一般会計からの繰入金で賄われていると思っておられると思いますが、こういう実態もあるということをご承知いただき、被用者保険に加入されているサラリーマンの方々は、市県民税も払っているわけですから、考え方によっては3重に保険料を負担しているとも考えられるということをご理解いただきたい。

(会長) ありがとうございます。そういたしますと、次に運営協議会委員の任期のことで事務局からお願いします。

(事務局) 運営協議会委員の改選についてですが、平成25年5月31日で、被保険者代表の松本憲昭委員、松本雅人委員、柏木香寿子委員、永見庸子委員、国保保険医又は国保薬剤師代表の松野委員、小林委員、公益代表の川本委員、渡辺委員、被用者保険代表の山本委員、土居委員が任期満了いたします。

被保険者代表につきましては、公募を予定しておりますが、応募がなければ、改めて委員をお願いすることもあると思いますので、その節にはよろしく申し上げます。

保険医代表につきましては、境港市医師協会に推薦をお願いできたらと考えておりますので、よろしく申し上げます。

その他の区分の委員の皆さんにつきましても、できれば委員を続けていただきたいと考えておりますが、任期満了までに個別に相談させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

(会長) 本日の予定はすべて終了いたしました。長時間のご審議ありがとうございます。これもちまして閉会いたします。ご苦労さまでした。

閉 会 午後2時35分

議事録署名委員
